

FPまつもと通信

ちょっと得する「保険」や「年金」についての話題をお届けします。

ご挨拶

今年の敬老の日は9月17日。各地で敬老イベントが開かれています。

ところで、敬老の日はいつから始まったかご存知ですか？

1947年、兵庫県多可郡野間谷村（現在の多可町八千代区）で、当時の村長が、「長い間社会に貢献してきたお年寄りに敬意を表すとともに、その知識や人生経験を次の世代に伝授してもらう場を設ける」ことを目的として、お年寄りを招き、村主催の「第1回敬老会」を開催したのが始まりとされています。

その時に招待されたのは55歳以上の人だったようです。55歳と言えば今では働き盛りですから、ちょっと驚きですね。



今月号の話題

資産運用ガイド

シミュレーションで使っている株式比率が異なる3つのファンドの特徴をグラフと数字で確認します。これを知ると価格変動の目安を把握できるので自信をもって継続することができるようになります。

ちょっと気になるお金のコラム

敬老の日に合わせて100歳になった人には国から銀杯が送られます。従来は純銀製だったのですが、2年前から銀メッキに変更になりました。その理由は？

最近のニュースから

少子化と言われて久しいですね。下のグラフは1995年以降の出生数と婚姻数の前年比増減率を表したものです（総務省 年次別にみた出生数・率（人口千対）・出生性及び合計特殊出生率 2016年のデータより作図）。前年比微増の年もありますが、ほとんどの年で前年比マイナス、最近になるほどその傾向が強いように見えます。



そんな中、2000年と2006年は増加が目立ちます。2006年は前年の2005年に出生数、出生率とも最低を更新した反動でしょうか、出生数、婚姻数とも前年比2%増となっています。2000年は、ミレニアム婚・ミレニアムベビーにより、婚姻数は前年比4%増、出生数も1%程度増加しました。

来年は平成が終わり新しい元号に変わります。そこで期待されているのが「元号ベビーブーム」です。日本経済新聞（8月3日）によると、妊活のためにヨガ教室に通う人も増えているとのこと。翌年は東京オリンピックと記憶に残る年が続きます。明るい未来を期待したいですね。



FP 松本相談センター
CFP・IFA（金融商品仲介業）
媚山裕之

〒390-1702

長野県松本市梓川梓856-26

0263-76-1250 090-8741-7358

info@fp-matsumoto.com

<http://fp-matsumoto.com>

2012年から2015年までの3年間、社会保険労務士として「年金事務所における年金相談業務」に従事。そこで、数多くの“悲惨な老後の実態”を目の当たりにし、老後に向けた資産形成の必要性を痛感。国も勧める、“確定拠出年金”や“つみたてNISA”を活用した「長期・分散・つみたて投資」を真面目に、地道に推進。クイズやゲームを活用した『つみたて投資セミナー』は「わかりやすい」と多くの受講者から支持を得ている。

確定拠出年金加入者のための資産運用ガイド

積立投資の推移



N社バランスファンドのデータによる（コスト控除後）

	積立合計額	株式75%	株式50%	株式25%
2018年6末	160,000	164,522	162,611	160,550
2018年7末	170,000	177,883	174,710	171,477
2018年8末	180,000	187,651	184,126	180,900

2017年3月から開始した積立投資は右の図表のようになりました。

確定拠出年金のような長期の積立投資で成果を得るためには以下のポイントが大切です。

投資期間に応じた資産配分

積立期間が長い場合には株式の比率を多く、受取時期が近くなったら値動きが小さい債券の比率を多めにする。

大幅に値下がりした場合

積立期間が十分にある場合は、株式への資産配分の増額、掛金の増額を検討する。

株式・債券の特徴を理解して長期継続する。

株式・債券の特徴は以下で確認できます。

2018年6月号、2018年7月号

株式や債券の特徴をよく理解して、様々なニュースや情報に惑わされず投資を長期継続することが成果に結びつきます。

今月は上記シミュレーションで利用している株式比率が異なる3つの商品の特徴をグラフと数字で把握したいと思います。

特徴を理解することで商品を選ぶときは勿論ですが、値上り時や特に値下がり時に慌てずに継続することができるようになります。

まずは株式比率75%の商品です。



2003年8月～2018年7月までの180か月の月次リターン（毎月のプラス・マイナス）をグラフにしています。

プラス（グラフが上向き）の月もあればマイナス（グラフが下向き）の月もあります。またその大きさもまちまちです。

次のグラフは株式比率50%の商品です。



当コラムは、商品選択の考え方、価格変動やニュースなどに対応するべきかについての一つの考え方をお伝えするもので、特定の運用商品、運営管理機関を推奨するものではありません。また、特定の商品の将来のパフォーマンスを約束するものでないことをご理解の上、ご覧ください。記載の情報（税制・社会保障制度・金融商品・マーケット・価格情報等）は発行日時点での情報に基づくもので将来は変更になることもあります。数値は公表されているデータに基づき当社にて計算・加工をしていますが、正確性を保証するものではありません。

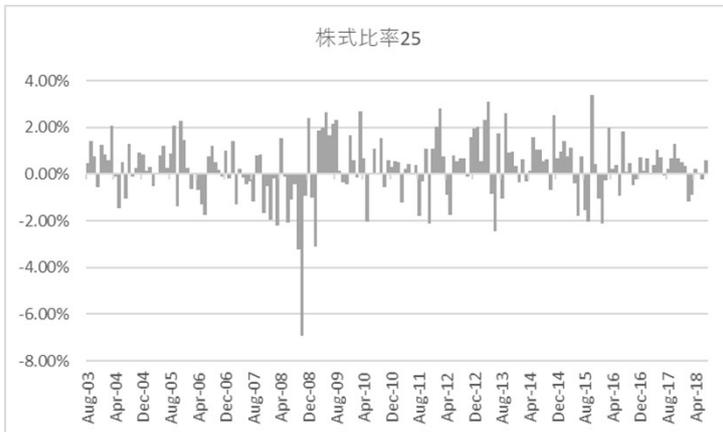
確定拠出年金加入者のための資産運用ガイド

こちらでも株式比率75%の商品と同様に、プラスの月もマイナスの月もあり、その大きさはまちまちです。

ただしよく見ていただきたいのはグラフの大きさです。一番マイナスが大きい月は両方ともリーマンショックの翌月の2008年10月です。株式比率75%の商品は、-16.87%、株式比率50%の商品は-11.78%でした。

プラス、マイナスの方向性は同じですが、その大きさが少し違うのがわかります。

最後は株式比率25%の商品のグラフです。



より値動きが小さくなっていることがわかります。1か月で最も大きく値下がりしたのは他のタイプ同様2008年10月で-6.93%でした。

このように株式や債券に分散投資する投資信託は毎月、プラスとマイナスを繰り返していることがわかります。プラスとマイナスを繰り返して結局「とんとん？」とを感じるかもしれません。

ここでもう少し詳細に特徴を把握するために数字で見てみましょう。右上の表は、各商品のデータを数字に表したものです。

これを見ると、それぞれの商品がどの程度の価格変動（特に下落）があり、長期的にはどの程度のリターンが期待できそうかの目安がわかります。

	株式比率75%	株式比率50%	株式比率25%
平均リターン	0.49%	0.37%	0.25%
合計リターン	88.12%	66.71%	44.85%
最大リターン	8.65%	6.08%	3.37%
最少リターン	-16.87%	-11.78%	-6.93%
月数：+	115	114	113
月数：-	65	66	67
月数：0	0	0	0
標準偏差	3.47%	2.42%	1.33%

月によってプラスマイナスはあるものの、平均するとプラスになります。平均がプラスなので合計もプラスになります。

月によって大きな値上がりがある一方、大きく値下がりする月もあります。リーマンショック以降も大きなマイナスの月は年に1回程度はありました。

1年のうちにプラスの月は7か月ほど、のこり5か月はマイナスです。

プラスマイナスの月数には大きな違いはありませんが、値動きの大きさを表す数字を見ると株式の比率と値動きの大きさには明確な関係があることがわかります。

このように見てみると投資で成果を得る方法が見えてきませんか？

多くの人はどうしたらマイナスを避けてよい時期を見計らって投資できるか考えています。また、そんなことは自分には難しいと感じて投資をしない人も多いかもしれません。

しかしながら、このデータにあるように、ときどきあるマイナスの月（と言っても4割の月はマイナスですが）を受け入れて長期に渡り投資（積立）を継続することによって誰でもが、難しい手法や情報収集などしなくても成果を得ることができていたことがわかります。

ちょっと気になるお金のコラム

100歳祝い 銀杯の値段は？

敬老の日にはおじいちゃん、おばあちゃんにプレゼントをする人もいるのではないのでしょうか？

国もこの日には100歳を迎える高齢者に内閣総理大臣からのお祝い状と銀杯を贈呈しています。開始したのは1963年、すでに50年以上続いている敬老の日の記念行事です。（写真は厚生労働省HPより）



昨年に100歳になった人は32,097人（前年度比+350人・平成29年9月1日現在）、100歳以上の人は全部で67,824人（前年比+2,132人）でした。

実はこの銀杯ですが、2015年までは純銀製だったのですが、2015年6月に行われた有識者による行政事業レビューにおいて、抜本的改善の対象とされ2016年からは洋銀製（銅、亜鉛、ニッケルの合金の表面を銀メッキ処理したもの）に変更になりました。

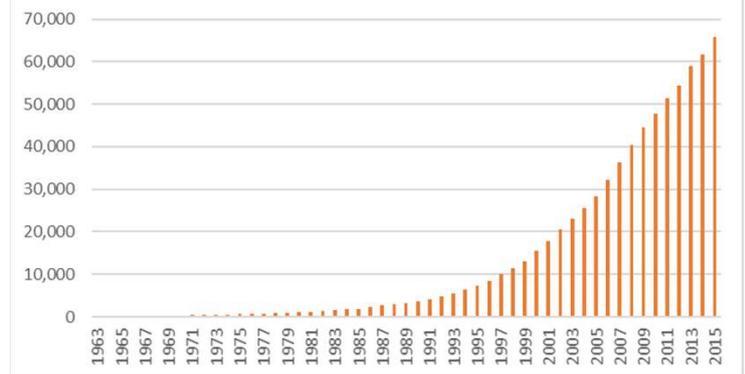
100歳以上の人口が今後も増加傾向にあることから予算の拡大を抑えることが目的にあります。右上グラフは100歳表彰が始まった1963年からの100歳以上人口の推移です。

1963年と今の人口を比べると、全体の人口は約9600万人から約1億2600万人へと約1.3倍に、一方、100歳以上の人口は、1963年には153人でしたが、昨年には67,824人と約440倍へと大幅に増加しました。

さらに今後も増加傾向にあることから予算の拡大を抑える必要が生じたためです。

純銀製から洋銀製に変更した結果、銀杯1個当たりの金額は、約7600円から約3,800円と半額に、厚生労働省の2016年度の当事業の予算は2.7億円→1.5億円と1.2億円と大幅な縮減になりました。

100歳以上人口の推移



ちなみに厚生労働省の年間の予算は約30兆円なので全体としてどのくらいの効果が期待できるのか少し気になるところです。

100歳の祝金 100万円！！

国とは別に記念品やお祝い金を贈呈している自治体も多くあります。一般的には年齢により2万円～10万円程度という自治体が多いようです。

愛知県の飛島村は、90歳＝20万円、95歳＝50万円、100歳＝100万円を贈呈しています。さらに、お年寄りの安否確認を目的に、独居老人に乳酸菌飲料を配布しているそうです。

住民サービスは高齢者だけではないようです。豊富な税収を背景に（臨海工業地帯を抱えるため）、中学2年生は村の費用で1週間のアメリカ研修旅行を実施するなど、他の自治体ではちょっと考えられない住民サービスを提供しているようです。

ただし、国と同様に財政難から「見直し」をしている自治体が多いようです。

敬老の日の祝金の「見直し」なら良いのですが、今後は年金、医療、介護などの社会保障制度についても「見直し」の議論が活発になることが予想されています。

敬老の日を祝ってもらうまでまだ年数がある方は、自分でできる準備をしっかりとっておきたいですね。

お金のこと、年金のこと、保険のこと、 すっきりしたい方、安心したい方は無料FP相談をご利用ください

- ✓ 保険料を払いすぎているか確認したい
- ✓ 自分が加入している保険がどのような時にでるのか確認したい
- ✓ 年金がいくらぐらいもらえるのか知りたい
- ✓ 年金が不安だがどのように準備したらよいか知りたい
- ✓ 火災保険や自動車保険のお得な入り方を知りたい
- ✓ 確定拠出年金の商品選びについて教えて欲しい
- ✓ その他



このようなことで少しでも気になることがある場合はご相談ください。ニュースレター会員の方向けに無料でFP相談を行っています。

ご相談事例

- 昔に入った生命保険を見直して毎月の保険料が大幅にダウン。
- 年金定期便の見方がわかり、具体的に老後資金準備のイメージがつかめた。
- 最近の医療制度や医療技術に合わせた保険に変更でき安心した。

FP無料相談 お申込

ご確認したい項目に、必要事項をご記入の上、ファックスでお申込ください。折り返しご連絡を差し上げます。

- | | |
|--|--|
| <input type="checkbox"/> 生命保険のお得な入り方 | <input type="checkbox"/> 年金定期便の見方 |
| <input type="checkbox"/> 加入生命保険の内容を確認したい | <input type="checkbox"/> 老後資金の準備について |
| <input type="checkbox"/> がん保険・先進医療保険について | <input type="checkbox"/> 教育資金の準備について |
| <input type="checkbox"/> 損害保険のお得な入り方 | <input type="checkbox"/> 年金商品の選び方 |
| <input type="checkbox"/> その他 | <input type="checkbox"/> 確定拠出年金の商品選びについて |

お名前

電話番号

メール

 (ブロック体でご記入ください)

勤務先

お役職

お問い合わせフォームはこちら⇒
<http://fp-matsumoto.com/contact/>



↓ FAX:050-3730-0380 ↓

個人情報の利用目的：当該サービスを提供。当社サービスのご案内